

津波被災を受けた農耕地の除塩方法

～津波被災後の営農再開マニュアル～

背景と課題

次の南海トラフ巨大地震が起こると県沿岸部に広がる約7,000haの農耕地が津波被害を受けると想定されています。

研究の目的

農耕地が津波被害を受けると塩害の被害区域や被害程度を迅速に把握し、早期に営農が再開できるように除塩作業を実施する必要があります。

研究の内容および成果

土壌の締まり具合に応じた採土円筒を使用して土壌ECを計測することで土壌中の塩分濃度を簡易に診断することができます。

また、県ブランド品目の除塩目標値を策定しました。



簡易土壌診断法

ブランド品目等の除塩目標値

品目	土壌EC (mS/cm)	土壌中塩素含量 (mg/100g)
水稻	0.6	83
レンコン	0.6	83
にんじん	0.3	34
きゅうり	0.3	34
オクラ	0.6	83
ブロッコリー	0.9	132
カリフラワー	0.6	83
ねぎ	塩分を完全に除去	塩分を完全に除去
さつまいも	0.3	34
だいこん	0.5	65
らっきょう	1	142

排水性の良好な砂地畑等は「浸透法」を、排水性の悪い水田等は「溶出法」を用いて除塩します。簡易土壌診断法を活用して土壌ECが除塩目標値以下に下がるまで除塩作業を繰り返します。



畑地の除塩方法「浸透法」



水田の除塩方法「溶出法」

生産者のみなさまへ

農耕地が津波被害を受けた際に塩害の被害区域や被害程度を早期に把握することができます。

簡易土壌診断法を活用することで除塩作業が効率的に実施できます。